

## 第八章 居場所×まちづくり

内閣府の『平成 29 年度子供・若者白書』によれば、警察庁・総務省・文部科学省らは、「近年、いじめの社会問題化や重大事件の続発など、子供の問題行動は教育上の大きな課題となっており、善悪の判断といった規範意識や倫理観の育成を図ることが、これまで以上に求められている。このため、学校・家庭・地域が十分連携を図り、子供の豊かな人間性や社会性を育む取組を進める必要がある」と示している。このことを踏まえて、警察庁・総務省・文部科学省らがこの問題に対して規範意識を持ち始めた。確かに、最近のニュースで子ども・若者の自殺や殺害事件は多い。座間殺人事件は記憶に新しい。何が原因なのだろうと考えた時に、「居場所」というキーワードが浮かんだ。

本稿では、居場所がもたらす問題を取り上げ考察し、居場所とまちづくりの関係性についてまとめていく。居場所の問題にはさまざまな要因が複雑に絡みあっていることは理解しているが、本稿では著者の興味・関心から、特に子どもと若者の居場所に焦点を当てて考察する。